

第49回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会



会場	福岡市総合体育館	
日時	平成31年3月23日 (土)	15:00
コート	Bコート	第5試合
カテゴリー	男子	2回戦
主審	大久保 好純	
第1副審	古後 宏和	
第2副審	西崎 拓哉	

TEAM A			TEAM B		
延岡学園	118		77	興南	
宮崎1位				沖縄2位	
○				●	

28 1st 15

32 2nd 29

31 3rd 20

27 4th 13

OT

【BOXスコア】

TEAM A		延岡学園高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	中小路 優	2		1			
5	ポーグ 健	8		4		3	
6	前田 陽向	0					
7	諸石 雅也 ○	13	1	5			
8	山本 裕樹	12	2	3			
9	市川 廉太郎 ○	5	1	1		2	
10	高橋 寛太	0					
11	森下 瞬真 ◎	24	2	8	2	4	
12	片伯部 樂年	0				1	
13	水野 虎太郎	2			2		
14	伊東 和希	0					
15	MUYA KABANGU FRANCIS ○	36		17	2		
16	眞喜志 梨生	0					
17	田中 虎太郎	6	2				
18	木下 岳人 ○	10		4	2	3	
コーチ	楠元 龍水						
合計		118	8	43	8	13	

TEAM B		興南高等学校					
番号	選手名	得点	3P	2P	FT	反則	
4	名城 伶真 ◎	13		5	3	2	
5	ケリー サマル 奏 ○	20		8	4		
6	大城 達也	2		1		1	
7	比嘉 一心 ○	6		2	2	1	
8	宮城 真斗 ○	16	2	5		2	
9	金城 亮輝	2		1		1	
10	バート サスケ マーク	2		1			
11	比嘉 駿斗 ○	3	1			1	
12	仲嶺 真平	0					
13	島袋 愁己	0				1	
14	田場 翔大	0					
15	山入端 海人	0					
16	平良 草拓	0					
17	許田 重仁	13	1	3	4	1	
18	屋嘉部 篤樹	0					
コーチ	井上 公男						
合計		77	4	26	13	10	

【戦評】

全九州大会2回戦、宮崎県1位延岡学園対沖縄県2位興南との対戦、延岡学園のスターティングメンバーは、#7、#9、#11、#15、#18、興南のスターティングメンバーは、#4、#5、#7、#8、#11で試合開始。第1Q、両チームともにマンツーマンでスタート。出だしは延岡学園の連続10得点で興南のタイムアウト。興南は前からプレッシャーをかけるも、ゴール下の延岡学園#15にボールを集められリズムを作れず。延岡学園は相手のシュートミスからリバウンドを取って#18、#11の早い展開で確実に得点。興南は#8の3Pで13点差。第2Q、興南#5の速攻で連続2P。延岡学園は2Qの出だしのリズムが悪くタイムアウト。興南は取られたら取り返す早いオフェンスから#17の3Pなどでリズムを作っていく。しかし、延岡学園も#15にボールを集め落ち着いて得点を重ねていく。一進一退が続くなかでも延岡学園が相手のミスを確実に点数につなげて16点差で前半を終える。前半の出だしは興南のディフェンスがあまり機能していなかったが、途中から自分たちのリズムを取り戻した。それに対して、延岡学園は点差を詰められても慌てることなく自分たちの持ち味を発揮。第3Q、延岡学園#15のリバウンドショットでスタート。その後も#15にボール集め得点。延岡学園の速攻から#9の3Pで26点差がついて、興南のタイムアウト。しかし、延岡学園の勢いは止まらずインサイド、アウトサイドとバランスよく得点を重ねる。第4Q、何とか一矢報いたい興南であったが、なかなか点差がつかまらない。延岡学園はメンバーを入れ替え100点ゲームで試合終了。ディフェンスから自分たちの流れを作りたいかった興南に対して、延岡学園#18、#11からセンター#15にボールを集め、多彩なオフェンスでバランスよく着実に得点を積み重ねていった延岡学園の見事な勝利であった。

【戦評記者】 横屋 信夫
福岡県バスケットボール協会